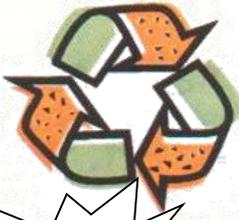


～マイ箸を 持ってつながる 小牧市民～（山内 果音さんの作品）



# 市民がつくる環境都市こまき こまき環境広報

編集：こまき環境市民会議

## 特集

## ～地域と向き合うこの人に聞く～

こまき環境広報では、環境についての話題を掲載していますが、特集として、地域で地道に活動を続ける方々にもスポットを当てていきます。

今回は、10年以上にわたって環境美化の分野で地域と向き合ってきた「米野さわやか会」の末松雅彦会長に“3世代参加の清潔なまちづくりで地域を変えよう”というテーマでお話を聞きました。

Q) 米野さわやか会はどういう団体なんですか？

**末松** 米野小学校区を中心に、清潔なまちづくりとともに次世代の環境にやさしい心育ちを支援することを目的に平成14年から清掃等の活動を続けています。

Q) どんな方々が参加しているんですか？

**末松** 地元の小・中学生を中心に10～70歳代の幅広い年代の方々が参加しています。

Q) いろんな年代の方と一緒に清掃活動などを続けてこられて、地域の人にも喜ばれているのでは？

**末松** そうですね。ごみが減って街がきれいになりますから、その点でも地域のお役に立っていると思いますが、実は清掃活動の一番の目的はごみ拾いではないんです。

Q) と、言いますと？

**末松** 清掃活動の真の目的は、人と人、人と地域をつなぐことによる、将来にわたる「つながるまちづくり」なんです。

Q) なるほど。長年にわたる米野さわやか会の活動は、その目的の実践だと？

**末松** そうです。そして、活動を通して、清掃活動が7つの波及効果を生むことを確信したんです。

Q) 7つの波及効果とは？

**末松** 子どもと親、そして地域の高齢者の3世代参加がポイントです。これにより波及効果もさらに高まります。



「場を掃けば心も掃ける」と語る末松さん



### ～清掃活動の7つの波及効果～

- ①子どもの規範意識が高まる
- ②人と人、人と地域のつながりがよくなる
- ③子どもも大人も地域への愛着心が高まる
- ④子どもの「お役立ち意識」が高まる
- ⑤いつの日も「快適で清潔なまち」の実現も
- ⑥青少年の非行予防
- ⑦街頭犯罪の未然防止

★末松さんお勧めの地域を変える方法とは？ 裏面必見です！！★

## 米野さわやか会の末松会長が提唱する ◆3世代参加の「地域ぐるみ清掃の日」

Q) たしかに、きれいなところにポイ捨てはしにくいし、街全体がみんなに見守られている感じがして、悪いことをしにくい雰囲気になりますね。子どもが中心にいれば周りの大人も巻き込むし。でも、現実にはみんな忙しい。良いことは分かっても、なかなかそういう活動って始めにくいと思いますが？

**末松** そうですね。さわやか会でも苦勞してきましたが、私達の経験から、地域において活動を始めるとして考えたポイントがあります。

Q) ポイントとは？

**末松** 子どもの参加が多いほど、波及効果も大きくなります。

### ～地域で清掃活動を始めるとしての第一歩～

① 自治会主催で

⇒地域づくりの中核事業として「3あい事業」を活用してみてもいかがですか？

②地域ぐるみで地域づくりを

⇒子どもや高齢者も含め「みんな一緒に」と参加を呼びかけるのと同時に、活動がもたらす効果もPRすると賛同の輪が広がります。

③年2回でいいんです

⇒春1回、秋又は年末1回の実施で効果は充分！

④第3日曜日の活用

⇒第3日曜日は「家庭の日」。一緒に活動すれば家族対話のきっかけにもなります。

⑤朝の1時間だけでOK

⇒9時ごろからの1時間は参加しやすい時間帯です。



Q) 地域で活動を始めるとしてのも大変ですね。一人では出来ないし...

**末松** はい。まずは賛同の輪を広げること。子ども会や老人クラブ、校区の学校などとも意見を交わしながら進めてみてください。活動を始めれば波及効果は充分期待できます。皆さんの地域でも活動の輪が広がることを期待しています。

### 【編集後記】

いかがでしたか？お話を聞きながら、ライフスタイルや社会環境の変化、それに伴う地域のつながりの希薄化などが進む中、あらためて「地域で活動すること、地域を変えていくことの難しさ」を考えた反面、地道に長年にわたり地域と向き合ってきた末松さんの経験に裏打ちされた言葉に頼もしさも感じました。

地域ごとの事情や難しさもあり、一朝一夕とはいきませんが、今回の記事が、少しずつ良い変化に向けていくための参考になればと思います。

◆末松さんから「興味を持たれた方には直接お伝えしたい」との希望がありましたので、関心のある方は、こまき環境市民会議事務局までご連絡ください。◆